

## 富山湾で採集されたツマリテングハギ

※ 稲 村 修

ツマリテングハギ *Naso brevirostris* (Valenciennes) は、紀伊半島以南～インド・太平洋域に分布する(岸本, 1984) 暖流系の魚で、富山湾では、1976年11月10日に生地沖の定置網で60cmの個体が捕獲された記録があるが(津田, 1990), 標本は不明である(津田, 私信)。

今回、氷見市沖の定置網でツマリテングハギが捕獲されたので報告する。

情報の提供をいただいた氷見市立東小学校の職員の方々、湊 菊男氏そして新湊市の津田武美氏に感謝申し上げます。

ニザダイ科 Acanthuridae

ツマリテングハギ *Naso brevirostris*  
(Valenciennes)

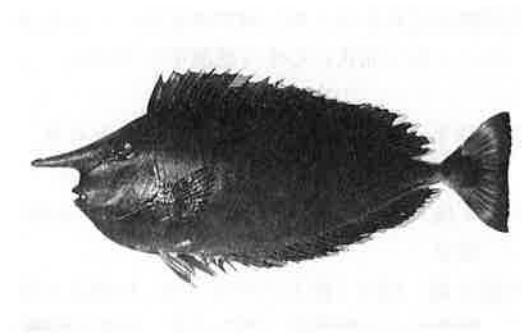
標本：全長305mm, 体長245mm

採集年月日：1992年10月12日

採集地：氷見市唐島沖 氷見浦定置網

採集者：湊 菊男(氷見市中央町6の3)

備考：この個体は湊氏が総菜用に仕入れたウマズラハギに混じっていたのを発見し、氷見市立東小学校に持ち込んだもので、発見時すでに死亡していた。体色は一様に灰色がかった茶色で、斑点や横縞は認められなかった。標本は同校で保管されている。



### 引用文献

- 岸本浩和. 1984. ツマリテングハギ. 解説. 日本産魚類大図鑑(益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編). 東海大学出版会, 東京. 222.
- 津田武美. 1990. 原色日本海魚類図鑑. 桂書房, 富山. 354-356.